免疫クロマト法食中毒菌検出キット

Lateral Flow System™

LFSキットは食品の日常検査で求められる迅速化をサポートする免疫学的スクリーニングキットです。本キットには専用の迅速培地が用意されており、現場において早急に結果が求められる場合にも更に迅速化が行えるシステムです。本キットはすべての無駄を省いたストリップタイプの為、安価で、保管容器を含めて非常にコンパクトです。実験室や冷蔵庫のスペースが有効に使えます。

商品名：LFSキット

商品番号：	**商品内訳**：	
30LF0100A	LFSキット*E.coli* O157	（50テスト）
30LF0200B	LFSキットサルモネラAD	（50テスト）
30LF0300A	LFSキットリステリア	（45テスト）
30LF5100	LFSキット*E.coli* O157専用培地	（500g）
30LF5201	LFSｷｯﾄｻﾙﾓﾈﾗAD一次増菌培地	（500g）
30LF5202	LFSｷｯﾄｻﾙﾓﾈﾗAD一次増菌ｻﾌﾟﾘﾒﾝﾄ	（250ml）
30LF5203	LFSｷｯﾄｻﾙﾓﾈﾗAD二次増菌培地	（10g）
30LF5300	LFSｷｯﾄﾘｽﾃﾘｱ専用培地 ｻﾌﾟﾘﾒﾝﾄ付	（500g）

納期：（受注後　5日　以内）

その他仕様：30LF5201 30LF5202 30LF5203 30LF-5300は冷蔵保存

LFSキットはAOACの認証を得ております

＊E.coli O157	AOAC-RI Performance Tested Method 010601
＊サルモネラAD	AOAC-RI Performance Tested Method SM 021001
＊リステリア	AOAC-RI Performance Tested Method 080501

有効期限は、キットは製造から約1年、培地類は製造から約3年間です。

廃棄

使用済みのストリップ、ピペット、試料はオートクレーブ滅菌してから廃棄して下さい。
その際はお使いになった地域での基準に則って廃棄して下さい。

注意事項

試料、増菌された培養液、使用済みの試験ストリップ等の取り扱いには十分にご注意下さい。試料をストリップに浸した後、試料がストリップ先端まで滲みこむことがあります。グローブをはめるか、ピンセットを使用する等して、試料を浸した後のストリップの取り扱いには十分ご注意下さい。

免責事項

DuPont™社による検査手順は購入者のためのガイドラインとしてのみ目的として作成されております。購入者の皆様には、各検査手順についてそれぞれのアプリケーションにおいて妥当性を検証して頂くようお願いいたします。DuPont™社の保証は、有効期限内において商品の不具合が証明され、DuPont™社にすみやかに報告された場合に限ります。DuPont™社は購入者・使用者に対し、この商品の使用によるすべての直接的および間接的な結果としての経済的損失や財産の損害を補償いたしません。（この日本語版の取扱説明書は、DuPont™社が発行する英語版取扱説明書をサポートする為のもので、日本語版と英語版で相違がある場合は英語版が優先されます。特に英語版の“Limitation and Warranty and Liability”（製品保障と責任範囲）の項は非常に重要な条項ですのでご一読頂きます様お願い申し上げます。）

製品クイックガイド

LFS*E.coli*O157

1. 検体の入ったバックにLFSO157培地を入れ、42℃で8～18時間培養します
2. 培養液を小試験管に移します。
3. ストリップを10分間浸します。
4. ストリップの赤いラインを読み取ります。

LFSサルモネラAD

1. 調整済みの1次増菌培地225ml(42℃に予め調整)を滅菌済みホモジナイズ袋に分注します。
2. 25gの検体を袋に入れ、30秒間手揉みします。その後緩めに袋の口を折りたたみ、軽くクリップで止めて中身がこぼれない状態にし、42℃で16-22時間培養します。
3. 調整済みの2次増菌培地1ml(42℃に予め調整)を滅菌済みの小試験間に分注します。その後1次増菌培養液0.1mlを小試験管に加え、42℃で培養します。液卵・加工食品が検体である場合は6-8時間、生食品が検体である場合は16-22時間培養します。
4. ストリップを10分間浸します。
5. ストリップの赤いラインを読み取ります。

LFSリステリア

1. LFSリステリア培地(サプリメント加)225ml とサンプル25gを混ぜ、ホモジナイズ
2. 30℃、40～48時間培養後、サンプル400μｌを小試験管に移す
3. ストリップを10分間浸します。
4. ストリップの赤いラインを読み取ります。

---

1 使用方法が簡単！！

上記クイックガイドの通り、使用方法は非常に簡単です。高品質で特異性の高い抗体がコーティングされており、従来の培養法と比べて信頼性の高い結果が得られます。

2 短時間・高感度検出！！

専用の迅速培地を使用することにより、ストレスを受けた損傷菌の増殖をフォローし、ターゲットの生育の妨げになる競合菌の増殖を制御して効率的に培養します。最短培養時間はO157で8時間、サルモネラで22時間、リステリアで40時間で従来法から大幅に培養時間を短縮できます。(前培養時間は検体によって異なります。)

3 省スペース・省廃棄量！！

キットは余分なハウジングを取り除いたストリップ式で、大きな保管スペースを必要としません。

4 常温保存が可能！！

本キットは常温での保存が可能です。保管場所を選びません。注意：30LF5201 30LF5202 30LF5203 30LF5300は冷蔵保存となります。